

抗菌薬選択 スタートナビ

研修医が必要なことだけ覚える！

セフトリアキソンと比較して各薬剤を理解し、
処方の考え方・使い方を学ぶための羅針盤

| | | | |
|-------------|------|----|-------|
| 序 | 萩谷英大 | 3 | (159) |
| Color Atlas | | 9 | (165) |
| 抗菌薬略語一覧 | | 12 | (168) |
| 微生物名一覧 | | 14 | (170) |

第1章 セフトリアキソンと比べて覚える必須抗菌薬3選

1. 抗菌薬学習の登竜門

まずはセフトリアキソンを覚えよう！萩谷英大 16 (172)

1. セフトリアキソンを深く理解しよう
2. 系統・分類： β -ラクタム薬
3. 抗菌薬スペクトラム：中庸的スペクトラムを有するセフトリアキソン
4. 投与回数：“時間依存性”である β -ラクタム薬のなかで異端児
5. 投与経路：セフトリアキソンは点滴製剤
6. 薬物動態：ほぼほぼ全臓器へ移行良好
7. 用量調節：基本的に調節不要…例外的に用量調節が必要なケースとは？
8. 副作用：胆泥に注意
9. 薬物相互作用：薬物相互作用は少ないがランソプラゾールには注意
 - Advanced Lecture：市中肺炎に対するセフトリアキソンは1回投与と分割投与のどちらがいいのか？

2. β -ラクタム系抗菌薬萩谷英大 24 (180)

0. β -ラクタム系抗菌薬のスペクトラム
1. ペニシリン系
2. セフェム系
3. カルバペネム系
 - Advanced Lecture：1. β -ラクタム系抗菌薬の長時間投与・持続投与 2. β -ラクタム系抗菌薬のアレルギー

3. マクロライド系抗菌薬藤谷好弘 33 (189)

1. マクロライド系抗菌薬で知っておくべき薬剤
2. マクロライド系抗菌薬の特徴を知る
3. マクロライド系抗菌薬の使いどころ
4. 処方の実際
5. 投与にあたっての注意点
 - Advanced Lecture

4. キノロン系抗菌薬（フルオロキノロン）

- セフトリアキソンとの比較を踏まえた臨床的使い方 ……横田恭子 40 (196)
1. セフトリアキソンとの共通点と相違点
 2. キノロン系のスペクトラムを理解する
 3. 器用貧乏な薬：キノロン系の癖を理解する
 4. 副作用と相互作用
 5. 耐性への懸念
 6. 主な薬剤の特徴
 7. 実臨床での位置づけ

第2章 その他の知っておきたい抗菌薬

1. 抗MRSA薬の使い分け

- バンコ・ダプト・リネゾリドをどう選ぶ？ 初期対応で迷わないためのポイント ……棕田権吾 48 (204)
1. 作用機序
 2. 抗菌スペクトラム
 3. 抗MRSA薬の使いどころ
 4. 各抗MRSA薬の使い方
- Advanced Lecture

2. テトラサイクリンの使いどころ ……福島伸乃介 56 (212)

1. 抗菌薬の特徴
 2. テトラサイクリンの特徴と作用機序
 3. テトラサイクリンの副作用・注意点
 4. 研修医が臨床でよく出会うシーン
 5. よくある臨床疑問と回答
- Advanced Lecture：チゲサイクリン（TGC）

3. アミノグリコシド系抗菌薬の使いどころ ……奥野修平, 安達英輔 63 (219)

1. 作用機序
 2. 抗菌スペクトラム
 3. 耐性機序
 4. 投与设计
 5. 副作用
 6. 各薬剤の紹介
- Advanced Lecture

4. ST合剤の使いどころ ……吉野友祐 70 (226)

1. 抗菌薬の特徴
2. ST合剤の実際

第3章 疾患・病態ごとの抗菌薬の使い方 ～病棟編

1. 市中肺炎・院内肺炎 ……関 雅文 76 (232)

1. 疾患の特徴と抗菌薬処方
2. 症例
3. 抗菌薬使用のポイントとピットフォール～処方例とセフトリアキシソンの適応は？

2. 尿路感染症（市中・院内発症） ……藤田浩二 86 (242)

- 疾患・病態の特徴と抗菌薬処方
1. 尿路感染症の治療でセフトリアキソンはどこまで使えるか
- Advanced Lecture：1. 尿路感染症（UTI）でのトラップ 2. 尿路感染症の典型的な画像所見

3. カテーテル関連血流感染症（CRBSI） ……小倉薫平 94 (250)

1. カテーテル関連血流感染症とは
2. 診断
3. 治療
4. 治療開始後のフォロー

4. 胆嚢炎・胆管炎 ……北川浩樹 101 (257)

1. 総論
 2. 原因微生物を考える
 3. 抗菌薬選択
 4. 症例の解説
- Advanced Lecture

5. 髄膜炎（市中・院内発症） ……佐藤達哉 107 (263)

1. 疾患・病態の特徴と抗菌薬処方
 2. 症例
 3. 肺炎球菌におけるペニシリン感受性判定基準
 4. 髄膜炎の治療でセフトリアキソンはどこまで使えるか
 5. 髄液グラム染色の感度と multiplex-PCR
 6. アシクロピルの投与について
- Advanced Lecture：デキサメタゾン併用について

第4章 疾患・病態ごとの抗菌薬の使い方 ～外来編

1. 咽頭炎……………関 雄太郎, 中村 (内山) ふくみ 115 (271)
1. 咽頭炎とは? 2. 5 killer sore throat
2. 膀胱炎……………大重和樹 123 (279)
1. 膀胱炎を疑うとき 2. 膀胱炎の鑑別診断 3. 膀胱炎の抗菌薬治療 ～起因菌と抗菌薬選択～
● Advanced Lecture: 抗菌薬選択肢を深掘り
3. 蜂窩織炎・外傷・動物咬傷 ……………中西俊就 131 (287)
1. 蜂窩織炎 2. 外傷・動物咬傷

第5章 抗菌薬の選び方にかかわるあれやこれやの疑問にお答えします!

- Q1. 初期治療の選択はどうしたらよいですか? ……………鈴木康大 139 (295)
1. 大前提として 2. 感染症診療の原則 3. なぜ重症患者で広域抗菌薬を投与したくなるのか?
- Q2. アンチバイオグラムってどうやって使うんですか?
……………鈴木 哲, 富樫篤生 147 (303)
1. アンチバイオグラムとその意義 2. アンチバイオグラムを使う場面
3. アンチバイオグラムを使いこなすために 4. アンチバイオグラムと de-escalation
5. 症例で考えるアンチバイオグラムの使い方 6. アンチバイオグラムの例外
- Q3. 感受性検査ってどうやっで行われているんですか?
……………兒島裕樹, 原田壮平 157 (313)
1. 感受性の判定 2. 主要な薬剤感受性検査 3. 耐性検査
- Q4. バイオアベイラビリティって何ですか? ……………真鍋洋平 165 (321)
1. バイオアベイラビリティとは
2. バイオアベイラビリティにかかわる2つの臓器と3つのステップ
3. 各抗菌薬のバイオアベイラビリティ 4. 抗菌薬選択におけるバイオアベイラビリティの重要性
- Q5. 腎機能障害時の調整ってどうやればいいですか?
……………小田川誠治, 羽田野義郎 171 (327)
1. 腎機能障害における抗菌薬投与設計の流れ 2. 腎機能評価
3. 腎機能に応じた投与設計の決定 4. 急性腎障害 (AKI) での注意点
- Q6. 投与時にローディングするべき抗菌薬を教えてください …石郷友之 179 (335)
1. ローディングの意義 2. ローディングが必要な薬剤と投与方法 ● Advanced Lecture
- Q7. 抗菌薬の併用療法が推奨される場面ってどんなときですか?
……………北浦 剛 187 (343)
1. 抗菌スペクトラムの補完 2. 耐性菌を考慮した“バックアップ” 3. 治療効果の上乗せ
4. 耐性化を防ぐ

| | | |
|---|-------------|-----------|
| Q8. 抗菌薬の投与期間って、どうやって決めていますか？ ……汐田航平 | 195 | (351) |
| 1. なぜ投与期間が大事なのか？ 2. 投与期間の基本原則 3. 短期治療が考慮できる感染症 4. 今後の課題 | | |
| Q9. 各疾患における治療効果判定の方法を教えてください ……菅野芳明 | 201 | (357) |
| 1. 感染症の治療効果判定の意義 2. 治療効果判定の方法 3. 主要感染症のパラメータ 4. 赤沈, CRP, プロカルシトニンは治療効果判定に使えるか？ | | |
| Q10. 点滴治療から内服薬への切り替えタイミングの目安はありますか？ | 石金正裕 | 208 (364) |
| 1. 静注抗菌薬を経口抗菌薬に変更できる患者の状態を理解する 2. 静注抗菌薬による長期の治療が必要な感染症例 3. 微生物検査の必要性和経口薬の選択肢を理解する | | |
| Q11. 覚えておくべき内服抗菌薬のレパートリーを教えてください | 木原久文, 末盛浩一郎 | 212 (368) |
| 1. 内服抗菌薬を選ぶポイント 2. 覚えておきたい内服抗菌薬 ● Advanced Lecture | | |
| Q12. ピペラシリン・タゾバクタムってなんでよく処方されているんですか？ | 柿内聡志 | 219 (375) |
| 1. PIPC/TAZとは 2. なぜ「よく」使用されるのか 3. PIPC/TAZの使用上の注意 | | |
| Q13. β-ラクタムアレルギー=β-ラクタム禁忌なの？ ……梶田志保 | 225 | (381) |
| 1. そもそも β -ラクタム系抗菌薬って一体何者？ 2. アレルギーと免疫分類 3. 問診でしか救えない“自称”アレルギー！ 4. 症状が出るかわからないときは？ 5. 次回に備えて！電子カルテに登録してる？ 6. 放置禁止！アレルギーの決めつけは選択肢を狭めてしまう | | |
| Q14. 感染症以外にCRPが上がる病態を教えてください ……山田晴士 | 236 | (392) |
| 1. 感染症以外にCRPが上がる病態の枠組み 2. 目の前の発熱患者・CRP増加にどう対応するか 3. 入院中の患者でCRPが上がったとき、感染症以外で考えるべき病態 | | |
| Q15. 血液培養陽性の患者さんは全例で陰性化確認をした方がいいですか？ | 藤原辰也 | 243 (399) |
| 1. 菌血症の分類 2. 血液培養の陰性確認が必要な微生物 3. 血液培養の陰性化確認が必要な疾患 | | |
| Q16. 誤嚥性肺炎の治療選択について教えてください ……中村信元 | 249 | (405) |
| 1. 誤嚥性肺炎の定義と疫学 2. 誤嚥性肺炎の診断 3. 誤嚥性肺炎の治療 4. 反復する誤嚥性肺炎への対応 ● Advanced Lecture | | |
| ● 索引 | 256 | (412) |
| ● 執筆者一覧 | 259 | (415) |